

【2023年度】京都大学大学院科目

「都市基盤マネジメント論」(前期(月3)英語講義)における企業体験について

担当教員：京都大学大学院 工学研究科長・工学部長 教授 立川 康人

京都大学大学院 工学研究科 教授 大西 正光

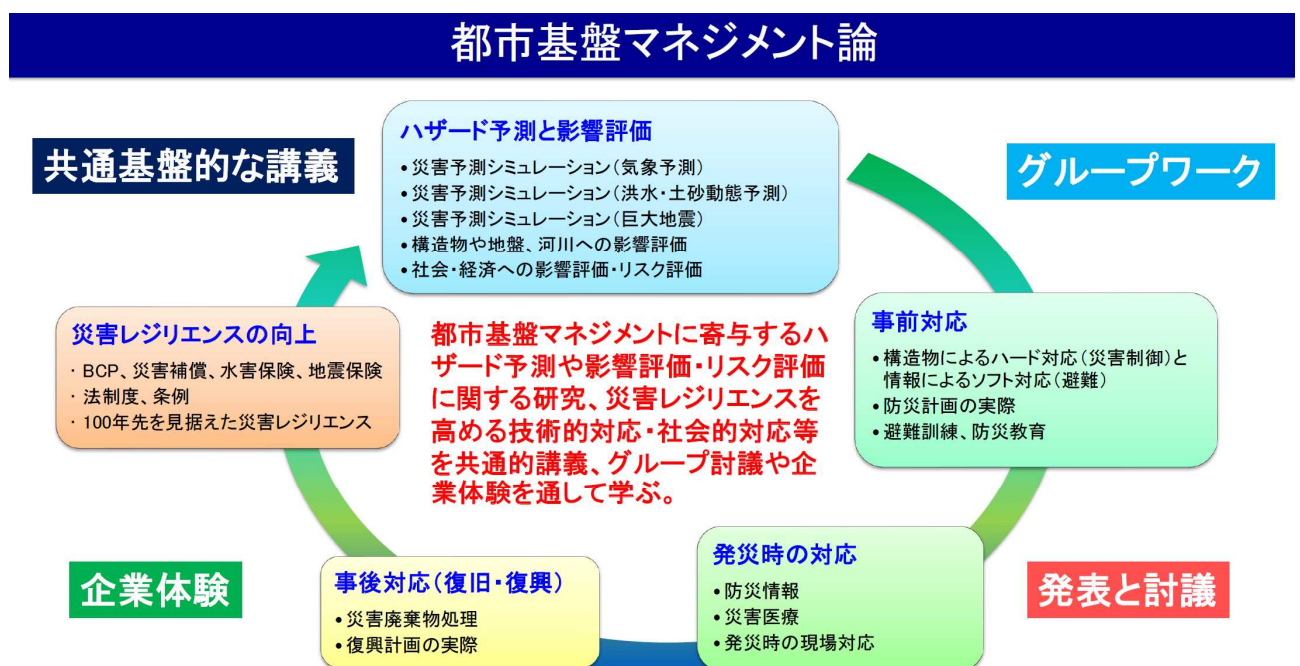
京都大学大学院 工学研究科 助教 TINUMBANG Aulia Febianda Anwar

○「都市基盤マネジメント論」(基本コンセプト)

- **自然災害に対するレジリエントな社会構築に関する共通基盤的講義**：自然災害に対するレジリエントな社会構築のために必要となる都市基盤マネジメントを主要内容とする。都市を構成する構造物や地盤、河川流域に対するハザード影響評価やリスク評価、ハザードに対する技術的対応・社会的対応等に関する土木工学の全分野に共通する基盤的な講義を提供する。また、グループ討議を通して自発的に学ぶ機会とする。
- **英語でのグループワークと発表**：講義をもとに土木工学の全分野に共通する課題を与える。留学生、日本人学生がグループワークで自ら学び、英語で討議して発表する機会とする。
- **学外講師による講義**：公的部門だけでなく民間部門の都市基盤整備や防災減災に対する活動を知る機会とする。そのため、民間部門の取り組みを講義に導入する。
- **企業体験**：企業体験を講義に組み込む。留学生に対して日本企業への就職を意識させる機会とする。

○ 想定する受講対象者

- 留学生には、土木分野全体がカバーする内容を伝えるとともに、企業体験を与える場とし、日本での就職を意識させる機会とする。
- 日本人学生の受講には、制限を設けない。



【講義計画】月曜日 3 講時 (13:15-14:45) 桂キャンパス

回数	日程 (教員)	内容
1	4/10 (立川)	ガイダンス
2	4/17 講義 1 (高橋)	ハザード予測と影響評価 1 構造物に対する影響評価・リスク評価と技術的対応、社会的対応
3	4/24 講義 2 (市川)	ハザード予測と影響評価 2 洪水や都市域の氾濫に対する影響評価・リスク評価と技術的対応、社会的対応
4	5/1 講義 3 (肥後)	ハザード予測と影響評価 3 地盤や地盤構造物に対する影響評価・リスク評価と技術的対応、社会的対応
5	5/8 講義 4 (大西)	発災時の対応 (防災情報、災害医療情報)、事後対応 (復興計画)、事前計画 (BCP、災害保険、法制度) 等による災害レジリエンスの向上
6	5/15 グループ課題の説明 (立川・アウリア)	前半部の講義すべてに共通する総合的なグループ課題の説明。グループ設定は留学生と日本人学生を半数 (1 グループ 5~6 名) とし、グループ数は 8 つ程度を想定する。
7, 8	5/22, 29 グループ討議 1, 2	グループ討議
9, 10	6/5, 12 グループ発表 1, 2	グループ討議の成果発表
11, 12	6/19, 26 (立川・大西・アウリア・関連企業)	<p>(桂キャンパス) インターンシップガイダンス</p> <p>■受け入れ企業のご担当者に京大に来ていただき、企業概要、実習内容及び注意事項等についてご説明いただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業説明 ・ポスターセッション
13-15	7/31, 8/1, 2 (関連企業)	<p>企業体験</p> <p>■ゼネコン、建設コンサルタント等にインターンシップの機会をご提供いただく。<u>グループ討議で設定したグループを 1 単位として</u>、各グループで数社を訪問する。</p>
16	8/10 (関連企業・大西・アウリア)	<p>(桂キャンパス) インターンシップ成果発表会・交流会</p> <p>■受け入れ企業に来ていただき、学生との意見交換会、交流会にご参加いただく。</p>